

発 行

福井県大野市天神町1番1号
大野市役所
電話(代)6-1111
郵便番号912
印刷 松浦印刷所



12月の人口の動き

出生 男 22 女 25 計 47
死亡 〃 16 〃 21 〃 37
転入 〃 41 〃 34 〃 75
転出 〃 38 〃 48 〃 86
世帯数10,372(前月+10)
人 口42,784(前月-1)
男 20,676 女 22,108

五百五十人が門出



「はたちの火」ともし前途を祝う

1月15日は成人の日、市は晴れの新成人男 286人、女 264人、計 550人を市民会館に招いて盛大な成人式を行いました。該当事者数で男性が女性を上回ったのは成人式始まって以来初めてのことです。

当日の朝は厳しい冷え込みになりましたが、終日晴天に恵まれて晴れ着や背広姿の青年 448人が出席。

このなかには、「ふるさとの成人式に

参加したい」という学生や県外就職者が83人もいて、久しぶりの再会を喜びあうほほえましい姿があちこちに見受けられました。

式典は寺島市長の式辞、齊藤市議会議長の祝辞に続いて成人感想文の発表、その後新成人自らの手でキャンドルサービス「はたちの火、をともし、新しい門出を祝いました。

成人感想文入賞者

(敬称略)

〈入選〉「成人になって」安田晴美(本町 学生)「新成人になって」広瀬直美(蔵生 学生)「私の選んだ道」井川さよ子(日吉町 看護婦)

〈佳作〉「成人になって」高田祐美子(田野 会社員)「私の選んだ道」奥村直子(下麻生島 看護学生)

「大野市振興計画」を手直し

これから5年間の 小学校施設を充実

自然と開発が調和した明るく住みよい大野市を築くため、市はこの三月を目途に昭和四十八年に作られた「大野市振興計画」の見直しを進めています。そのうちの基本計画の概要がまとまりましたので、お知らせしましょう。



昭和54・55年度に改築が計画されている有終南小学校

財政の見通しは厳しい

基本計画は昭和51～56年度の6年間に「歳入はどうか」「新たな建設事業に当てられる財源はどれだけあるか」また「どのような事業を行うか」など昭和48年に策定した「振興計画」をその後の情勢の変化に対応するために総点検して作られています。

財政計画をみますと、歳入面では経済が低成長期に入ったため市税、普通交付

税とも高度経済成長下のような大きな伸びは期待できず、市税は毎年5%の伸びを見込み昭和51年度の10億7,578万円に対し昭和56年度が13億7,300万円、普通交付税は10%の伸びで昭和51年度の12億4,329万円に対し昭和56年度は19億9,990万円になると試算しています。

このように緩やかな伸びで歳入は毎年2億円程度増えますが、歳出では人件費物件費、補助費、扶助費、公債費などの義務的経費が年々約10%多くなり、なかでも公債費は昭和51年度1億982万円が昭和56年度には2億4,200万円と2倍以上になる見込みです。このため、毎年事

業に振り当てられる財源は6億円程度でこの限られた財源を市民のみなさん方の協力を得ていかに有効に生かすかが基本計画のなかでも最も大切な事柄になっています。

ことし東小学校建設に着手

計画している主な事業をあげてみると、昭和52年度は清掃センターの完成、し尿処理場前処理施設の建設、蔵生小学校の一部改築、東小学校建設に着手、中学校グラウンドの整備、第2次農業改善事業の推進、宝慶寺に林業振興センターの建設、53年度からは農道舗装に力を入れ年次計画で実施、また乾側小学校の改築、老人福祉センターの建設、54年度は東小学校、乾側小学校の完成、有終南小学校建設に着手、55年度有終南小学校の継続、阪谷小学校の建設に着手、56年度は有終南小学校、阪谷小学校の改築、小・中学校プールの整備などです。

以上のように、これからの5年間は昭和46～50年の中学校整備に続いて小学校整備の時期であり、義務教育施設の充実に他の事業に優先させます。

このほか、市道の改良は52～56年度に1万4,200坪を、舗装は2万1,500坪を施行し舗装率39%を達成するとともに、毎年土地基盤整備、都市計画街路などの市の基礎、基盤となる事業は積極的に行っていく計画です。

昭和51年火災・救急統計

多いふろ、ストーブの不始末

出火18件、4,100万円が灰に

大野地区消防本部はこの程昭和51年中の火災・救急統計をまとめました。

火災発生状況では、出火件数が18件で前年より4件多く、損害額は4,105万円前年より1,340万円少なくなっています

また、建物の焼失面積は1,081平方メートルで前年より34%増、死者は4人で前年の1人に比べ3人多くなっています。

火災の原因では、ふろ・かまどの不始末、石油ストーブの取り扱いの不注意がそれぞれ3件で最も多く、次いでたばこガス炊飯器によるものが2件で注意すべ

ば防げたはずの火事が大半でした

救急出動は291件、運んだ人数は320人で、昨年比10件、67人減りました。事故別では急病が95件で昨年と同じくトップ、次いで交通事故80件、一般負傷62件の順になっています。運んだ人は交通事故98人、急病96人、一般負傷66人の順で、昨年比比べてどの事故も人数は減っていますが、高齢者の急病と若い人の交通事故、一般負傷が多いのが特徴です。

井戸枯れ、ついに100戸超す まだ足りない「融雪」の自粛

心配された井戸枯れがついに 100戸を出しました。

12月26日～1月7日まで降り続いた雪によって融雪装置が使われたため、春日児童公園での地下水位は12月27日3.98m、1月4日4.89m、6日4.85m、7日にはついに5.10mまで下がりピンチに直面しました。

市は4日から連日広報車で節水を呼び掛けるとともに、7日には「地下水注意報」のチラシを出し、市職員が市街地とその隣接の78区を巡回して「屋根雪は融雪装置を使わず人力で下ろす」よう節水を呼び掛けました。

融雪装置をもつ家庭は年々増えて現在約 1,150戸あると推定されます。仮に66平方m (20坪) の家46戸が1日フルに融雪水をくみ上げますとその水量は約2万

トンとなり、これは市街地の全家庭(5,000戸)が1日に使う水量(水道施設規準に基づく水量算定)に匹敵します。これによって融雪はいかに大量の水を使うかがわかります。雪のない「住みよい都市づくり」には「融雪」は必要ですが飲料水にも困る家庭が出る状態のなかでは互いに協力しあって、まず「家庭用水を守る」ことに努めなければなりません。

市はかん養対策とともに、工業用水の節水対策を関係業者のご協力をお願いして積極的に進めています。貴重な地下水を合理的に使用するよう市民の皆さんとともに努力を続けてまいりますので、さらに節水につきご協力願います。



地下水の現状や問題点を話し合う
地下水を守る会の会員たち

川水を融雪に利用

くみあいマーケット
京福バス駐車場



川水を利用した京福バス駐車場の
自動融雪装置

注目を集める水源の転換

大野市農協のくみあいマーケット(水落町)と京福バス大野営業所(中荒井)は川水を融雪に利用して成果を上げており、融雪を地下水に頼れない現在「水源の転換を図る」よい方法として、各方面から注目されています。くみあいマーケットは水落町の用水路に水中ポンプを備え、鋼管で110m水を引き、砂やドロを沈殿させる60トンの貯水そうを設置しました。そこからきれいになった水をくみ上げ、2,300平方mの駐車場に散水して

います。取水のための工費は150万円。

また、京福バス大野営業所では三ヶ用水からポンプアップして3,000平方mの駐車場の融雪をしており、散水は温度と降雪量を組み合わせた自動装置により行っています。安井敏光所長は「川水で十分融雪が出来ます。ただ砂やドロがノズルに詰まることがあるので、ろかして散水する必要があります。ことしは試験期間です。不都合なところはこれから改善していきたい」と話していました。

大野の地下水を守る会

主婦ら34人で発足

自ら節水、保全を働きかけ

「うまい飲み水を自分たちの手で守ろう」と1月11日有終会館で主婦ら22人が集まり「地下水を愛する市民の集い」が開かれました。

地下水の現状や節水の方法などが討議された後、野田佳江さん(50歳、春日二丁目)ら8人が世話役になり「大野の地下水を守る会」を結成。

翌12日の初会合には34人の会員が集まり①会員自ら節水運動を実践する②地下水の勉強や関係機関へ地下水保全を働きかける③ポスター、チラシを配って市民に地下水の現状を理解してもらい賛同者を増やす——などの具体的な活動内容を決めました。

行政が中心となつての節水呼び掛けのほかに、市民自らの手で地下水を守る動きが出てきたことは力強いことです。

市民体カテストの結果

がんばりがきかない大人 もっと歩け歩け、が必要

大野市教育委員会は昨年11月に行った市民体カテストとスポーツ少年団の体カテストの結果をまとめました。これによりますと、少年は敏しょう性にやや劣るが持久力は全国平均よりはるかに高く、反対に大人は敏しょう性や瞬発力はあっても持久力が弱いということがわかりました。



反復横跳びのテストを受ける受験者

市民体カテストは有終会館で11月24～26日の夜間 3日間行い、26～58歳までの

市民50人(男35人、女15人)が参加しました。

市民体カテストにどうぞ

日時 2月21日(月)～24日(木)の4日間
午後1時30分～3時30分
場所 有終会館体育館
対象 事務関係の仕事をしている一般市民
テストをスムーズに進めるため、出来るだけ2人1組でおいで下さい
所要時間は約40分です。

参加者は反復横跳び(敏しょう性)垂直跳び(瞬発力)握力(筋力)ジグザグドリブル(巧ち性)急歩(持久性)の5種目に挑戦、最後にそれぞれ記録を採点してC型、J型、I型、L型、逆C型に分析し、受験者1人ひとりについて体カ診断を行いました。

一番多かったのはJ型で「運動能力はあるがスタミナが欠乏しており、心臓、肺臓の持久性が劣る」のタイプであり、「体力年齢は10歳以上老け込んでいます

あなたは日ごろもっと歩いて下さい。また、毎日なわ跳びかマラソンすることをお勧めします」と係員から体力づくりのアドバイスを受けていました。

しかし、なかには敏しょう性、持久力ともに望ましいタイプのC型の人が出て「年齢より10歳以上も若い体です」と、うれしい折り紙がつけられた女性や50歳代の男性もいました。

一方、子供の体カテストは市のスポーツ少年団員 222人について、立ち幅跳び上体起こし、腕立て懸垂などの5種目を行いました。一般的に敏しょう性はやや劣りますが、持久力は全国水準よりはるかに高いよい成績でした。

この結果について市教育委員会では「子供については問題はありますが、大人は男女とも30歳を超えると目立って持久力、筋力が衰えています。参加した高齢者や婦人のなかによい成績の人がいましたが、これは毎日適当な運動を続けているたまもの。体カテストは年間に何回も行いますが、特に2月は問題が多い事務的労働者を対象に行いますので、多くの方が受けてほしい」と呼び掛けています。

〈有終会館開館3カ月〉

「静かでゆったりした施設」と好評

体育、教育、福祉活動に5,000人が利用

有終会館がオープンして3カ月、1月31日現在で延 4,999人の利用者がありました。

会館でスポーツを行っている人は「社会体育専用の体育館だから気楽にプレーが出来る」と喜び、文化活動に励んでいる人は「静かでゆったりしているので大変使いやすい」となかなか好評です。

使用者の内訳(11月1日～1月31日)はバドミントン、バレーボール、バスケットボール、サッカー、卓球などのスポーツ関係が2,775人、音楽愛好グループ老人会、婦人会、手話講座、ボイスカウト、生活学校などの社会教育や福祉関

係が2,224人です。

現在のところ体育館はほとんど毎日いっぱいですが、会議室にはまだ余裕があります。

また、大廊下には卓球台が6台備えてありますが、夜間はほとんどあいています。個人、団体を問いませんので、どうぞご利用下さい。

ただし、利用者整理の必要上1週間前に有終会館事務所(6-2287)へ使用の申請をして下さい。開館時間は毎日午前8時30分～午後9時30分、休館日は毎週金曜日(第3金曜日を除く)と第3日曜日、祝日です。

スマイル

「体カテスト結果」

明日からバス代はあげません
——主婦

市、県民税の申告は三月十五日まで

最寄りの会場を利用して下さい

印鑑・用紙各証明書などをお忘れなく

人②昭和52年1月1日現在で給与の支払いを受けており、給与以外の所得のない人は申告の必要がありません。

〈申告に必要なもの〉

①申告用紙②印鑑③家族の生年月日がわかるもの(保険証など)④昭和51年中に支払われた生命保険料の領収書または証明書(1口9,000円以上)⑤保険税、国民年金、心身障害者扶養共済掛金、農業者年金の加入者はその掛金の領収書⑥青色専従者、事業専従者、日雇、勤めたことのある人は源泉徴収票(恩給、年金を含む)または給与支払い明細書⑦20歳以上の大学生を

市・県民税申告日程

月 日	場 所	月 日	場 所
2・28	乾側公民館	3・8	富田公民館
〃	下庄公民館	〃	市農協富田支所
3・1	下庄公民館	3・9	阪谷公民館
〃	庄林公民館	〃	市農協阪谷支所
3・2	南六呂師公民館	3・10	市役所大会議室
〃	小山公民館	3・11	市役所大会議室
3・3	上庄公民館	3・12	市役所大会議室
3・4	上庄公民館	〃	五箇公民館
3・7	中村町据道場	3・14	市役所大会議室
〃	中休公民館	3・15	市役所大会議室

時間はいずれも午前9時～午後4時まで。
ただし、3月12日五箇公民館は正午まで。

扶養控除対象とする人は在学証明書⑧施設入所者を扶養控除とする人は施設の住所、施設名がわかる書類⑨不動産所得(地代、家賃)のある方で用紙に記入しきれない人はその明細書⑩身体障害者等の方はその手帳⑪大野市に住民登録があり、他市町村で課税されている人はその住所、勤務先がわかる書類



市・県民税の申告をする市民(市役所で)

市・県民税の申告は3月15日までです。申告用紙は区長さんを通してすでにお届けしてありますので、右表の日程により申告して下さいをお願いします。

申告しないと医療費、生命保険料など各種の控除が認められず不利になります。ただし、①所得税の確定申告をされる



④5 面谷鉦山文書

面谷鉦山産出の銅・鉛・銀などは古来良質のものとして、江戸時代の銀座・銅座でよこばれたといわれています。

この鉦山関係の古文書が面谷出身者全員の依頼で錦町(五番下)の真宗寺に保存されています。文書総数は85本。①面谷鉦山の盛衰の歴史②大野藩



の面谷鉦山経営の方法③面谷村民の鉦坑に対する考え方④旧藩から新政府への移り方⑤諸国鉦山への幕府の方針などがよくわかります。

天保15年3月吉日、土井利忠公署名の「御進献序文写」をはじめ、正徳5年9月の「高倉御立山御書付写」寛政元年西年10月の「面谷村への入用木材について」享保19年寅四月「年賦証文の事」慶応2年「面谷山坑噯人にて山境をきめる」諸国鉦山御定法山例之事」など貴重な文書がたくさんあります。

路上駐車は除雪の妨げ 交通確保に大きな障害

市は積雪15cm以上になりますと早朝4時から除雪を始め、市民が出勤、通学する時間には幹線道路の通行に支障がないよう努力しています。

ところが除雪が一番困るのは路上に放置された車両。市が1日に除雪する約130台の間に70~80台が止められているため、その部分だけは除雪が出来ません。これが交通のネックになって車の渋滞を引き起こしています。

放置車両の多いのは市街地よりも農村部の幹線道路。まだこれからも降雪が予想されますので、路上には絶対駐車しないよう注意して下さい。



◆所得税の確定申告は最寄りの会場で

所得税の確定申告は2月16日～3月15日です。早めに正しい申告をしましょう
申告、納税相談は次のとおり行います
のご利用下さい。

上庄農協	2月16～18日
大野市農協大野支所	2月21・22日
〃 小山支所	2月21～23日
〃 下庄支所	2月21～23日
〃 富田支所	2月21～23日
〃 阪谷支所	2月21～23日
〃 乾側支所	2月22・23日
大野市役所	2月25日

◆市民スキー大会は6日

市民スキー大会が次のとおり行われます
ですので、ご声援下さい。
〈日時〉2月6日(日)午前9時から
〈場所〉六呂師スキー場
〈内容〉大回転、距離
〈競技方法〉一般は地区対抗、中学生は
学校対抗

◆年賀はがきデザインコンクール入賞

応募数 249点、入賞は次のとおりです
一般の部
〈最優秀賞〉受取作品石黒一男(春日2
丁目) 〈優秀賞〉受取作品三宅嵩(天神
町) 受取作品永野浅栄(努力賞) 自作品
牛島弘(明倫町) 自作品辻忠志(元町)
〈デザイン賞〉受取作品川次雄(春日3
丁目) 受取作品深美不可止(泉町) 〈ア

イデア賞〉自作品土井孝昭(中挟) 受取
作品花山長右エ門(下丁)

小中学生の部

〈最優秀賞〉自作品平鍋健児(春日2丁
目) 〈優秀賞〉受取作品山崎幸子(月美
町) 〈努力賞〉自作品丸山陽子(泉町)
〈アイデア賞〉受取作品稲葉良雄(泉町)

◆六呂師スキー場の雪まつり

〈期日〉2月12(土)、13日(日)
〈場所〉六呂師スキー場グレンデ
〈内容〉12日夜たいまつ滑降、営火祭、
バンド演奏、13日もちつき、抽選マンド
破り、模範滑降(スキー学校)

◆福祉資金の利用と償還期限の厳守を

県は母子・寡婦家庭に対して住宅・事
業・技能修得などの「母子・寡婦福祉資
金」の貸し付
けを行って
います。ご希
望の方は市福祉
事務所内の母
子相談員にお
尋ね下さい。



なお、現在利用されている方のなか
には償還が遅れがちの方がいます。県
では償還される金を見込んで新しい貸
付事業を進めていますので、償還期
限を厳守して、期限四、五日前には
送金願います。

◆「わが家計簿」の作文募集

福井県貯蓄推進委員会は「わが家計簿」
の作文を次のとおり募集します。
〈応募規定〉400字詰原稿用紙5枚以
内原稿には住所、氏名、職業、年齢、
家族名、家計簿記帳年数、電話番号を
記入

今月の納税

固定資産税	第4期分
国民年金保険料	第4期分

28日までに納めて下さい。

すること。
〈締め切り〉2月28日
〈あて先〉〒910 福井市順化1～1
福井銀行本店 日本銀行福井事務所内
福井県貯蓄推進委員会
〈入選発表〉6月中旬

◆屋根雪下ろし、感電に注意

屋根雪下ろしで感電したり、電気の引
込線を断線させたりする事故がよく起
きます。
屋根雪を下ろす時には次の事に注意し
て下さい。
1. 電線にスコップやこうすきで触れな
いこと。
2. 引込線に注意し、電線のあるところ
へ雪を投げないこと。
3. テレビアンテナなどが倒れ、電線に
触れないようよく注意する。
4. 電線が切れた時は絶対に触れないで
すぐ北陸電力大野営業所(6-4477)へ
連絡する。

◆年賀はがきくじ、賞品受け取りを早く

お年玉つき年賀はがきの抽選は1月15
日に終わりました。
当選番号は郵便局の窓口に掲示されて
いる外、新聞で発表になっています。
賞品の引換期間は7月19日までです
から、くじ番号をお確かめの上、近く
の郵便局で早めにお受け取り下さい。



二月を如月(きさらぎ)とも言う。寒さが厳し
いので着物を更に重ね
て着る。すなわち衣更
着(きぬさらぎ)からき

た言葉だと聞く。こう寒いとなべ料理
などが喜ばれるが、大野には冬の食物とし
て「にしんづけ」がある。他の寒い地方
にもあるそうだが、いつごろから大野地
方の人々の食卓に上るようになったのだ
ろうか。このほのかな甘味がつけ物
にしんにしみ込み、にしんを食べれば心
持ちすっぱ味のあるなかに、得も言われ
ぬシブ味が舌にとける。そして程よい固
さの歯切れのよいダイコン。ひんやりと
冷たさが歯にしみる。それは「おふくろ
の味」であり、動物性と植物性を組合わ
せた、生活の知恵から生まれた食べ物で
もある。こんなにおいしい食物はいつい
つまでも残していきたいものだが、十数
人の若い女性の方に、にしんづけの作り
方を聞いてみた。食べたことのあるけど
作り方は知らない」と言う答えがほとん
どで、なかには「店屋に売っているワ」
と言う人もいた。確かにパックに入れて
店頭に売られている。しかし、手作り
の方が味に深味があるようだ。それは、
「お母さんが作ったのよ」と言うことか
もしれない。今のうちにお母さんから「
にしんづけ」や「梅干し」の作り方を
おそわって置いてほしいと思う。そこには
話があり、心の触れ合いがある。▼とは
言っても、若い人たちのし(嗜)好も変わ
り便利さになれている。手作りの物を自
分の子供に食べさせるということがだん
だん消えて行くのだろうか。寒い夜、に
しんづけを食べながらふと思った。(D生)